

NUMAZU LIONS CLUB

LION

2021-2022 年度クラブスローガン

“みんなで楽しく
We Serve”



コロナ渦でのクラブ運営について

MESSAGE

年頭にあたって 会長 L 大川祐輝

MESSAGE

IT 技術がクラブにもたらすもの



NUMAZU LIONS CLUB

会報 No.767 www.numazu-lionsclub.jp

No.767
02

February 2022

MESSAGE

新年のご挨拶、IT チームについて

新年を迎えた今、 新しい奉仕を考える

2022 年を迎え、新たな奉仕活動を模索する中
結成された IT 実用化推進チーム。大川会長の
想いと、試験と実施を繰り返しながらより良い
形を模索する IT チームにお話を伺いました

「年頭にあたって」

会長 L 大川 祐輝

新

年明けましておめでとうございます。

沼津ライオンズクラブの皆様には新たな年をお
健やかに迎えにいられたことを心よりお慶び
申し上げます。

昨年はまん延防止等重点措置から緊急事態宣言と私た
ちの活動も大きな制約を受けましたが、IT 実用化推進チ
ームをはじめとする皆様のおかげで、リモート例会とい
う初めての試みを行い、コロナ禍で会員の皆様との接点を
途切れることなく運営を行うことができました。これも
ひとえに皆様のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

7 月には大変残念なことです。元チャーターメンバ
ーの鈴木善之助さんが永眠されました。4 月のチャ
ーターナイトにご出席されたばかりの訃報でした。心よりご冥

福をお祈りいたします。

そのような中クリスマス例会では、久しぶりに皆様、
またパートナーの方とも楽しい時間を過ごすことができ
ました。

本年も蔓延防止等重点措置が発令されました。またク
ラブの活動も大きな制約を受けることになります。昨年
7 月の熱海市の土砂災害をはじめ 8 月の大雨 12 月のア
メリカでの竜巻、今年 1 月のトンガ諸島の大噴火など甚
大な災害がいたるところにおきました。

このような時だからこそ、私たちが力になれる事、新
しい奉仕活動への取り組みがあるはずです。明けぬ夜は
ありません WE SAVE みんなで力を合わせこの難局を乗
り越え私たちの助けを必要としている方々の力になれる
ように努力していきたいと思います。

2020年に発足され、コロナ渦でのクラブ運営に尽力してきたIT実用化推進チーム。チームリーダーとスタッフにその想いを伺いました

IT技術がクラブにもたらすもの

昭

和 40年、今から50年も前の話です。小学3年生の私は、東京駅八重洲地下街の奥にあった、電電公社のショールームを見に行くのが大好きでした。ショールームには初めて目にする「プッシュホン」など、電電公社の最先端の開発品が並べられていて、黒電話しか知らない私はその未来の電話のかっこよさに魅了されたものです。中でも機械もの大好き少年の私を虜にしたのは、まだ一般に普及する前の「ファクシミリ」という、今まで見たこともない機械でした。

赤い帽子のショールームのお姉さんは「この機械を使うとね、声だけじゃなくて電話で文書も送れるようになるのよ」と言われ、目の前で同じ文書が出てくるのをいつも不思議に思いながらも子供心にすごい機械だなあと感動したのを覚えています。

また大阪万博の電気通信館ではワイアレスホンの体験コーナーがあって、係のお兄さんから「未来の世界では電話に線はなくなり、数字のボタンを押せば、どこでも自由に持ち歩いて話せるようになるんだよ」と教えられSFの世界の遠い未来に夢おどらせたものでした。

あれから半世紀、当時最先端の技術を誇っていた日本ですが、世界のIT化が急速に進む中、現在「ファクシミリ」を使っている国はもはや数えるほどになるなど、レガシーシステムを使い続けることによる、日本のIT化の遅れが問題となりつつあります。政府はこれからの「DX」社会を見据えて「2025年問題」などを例示して大企業に早急なIT改革の取り組みを促しています。これからの10年は国際社会や国内の大企業からの要請が加速し、中小企業においてもIT改革が必須になり、この流れに乗り遅れないようDX時代に対応できる企業経営が求められていくのだと思います。

今、若い人達は情報収集や連絡はすべてスマホで済ませ、PCは持たず、メールアドレスも持っていない人が多いです。買い物は通販が多く、また店頭でも現金は持たず、バーコードやQRコードによるスマホのキャッシュレス決済が普通の生活です。韓国では97%がキャッシュレス決済になっているそうです。日本ではまだ30%ですが世界的IT化の流れの中で、あらゆる場面でのスマホ利用率は益々高くなっていくと思います。IT先進国の



老婦人がパンを一つ買うのに街中を何時間も店を探して歩き続ける姿がドキュメンタリーで取り上げられていました。どの店もコード決済のみで現金を扱わなくなっているからです。これは明日の日本の姿でもあります。いま数々の便利さを求めてIT化の取り組みは勢いを増しています。特にコロナ禍にあるいま、密を避けての会議やセミナーなどがIT技術により実現されています。会議のために参集することなく、従来と変わらずに目的が達成できており、大変便利に活用されています。

私は先日ウェビナーと呼ばれるLCIFに関するリモートセミナーに参加しました。遠く離れた場所で開催された200人近いセミナーでしたが、自宅にて気軽に聴講することができました。交通費、会場費、移動時間、感染予防など多くのメリットが感じられる取り組みでした。

近い将来、我々の奉仕活動も、寄付のIT決済やリモートによる支援活動などIT化が益々求められるようになっていくと思います。当クラブでも、コロナ対策に伴い昨年より例会と役員会のリモート開催を進めた結果、両会とも本日まで一度も中止することなく開催できています。これも会員のみなさんのIT化へのご理解とご協力があった実現できたことです。今後も一人一人がIT化に取り組むことで、例会参加者のオンライン集計や資料のクラウド共有、倉敷LCとのリモート合同例会開催など、クラブ運営に数々の便利さを実現していけると思います。

IT実用化推進チームは将来に向けて、クラブ文書のアーカイブ、役員会や例会、委員会資料のデジタル保管化、リモート例会配信品質の向上など、引き続きIT技術を活用し、みなさんの、より快適なクラブ生活実現のために活動を進めて参ります。「駅前の伝言板」や「ダイヤル回して手を止めた〜」の昭和時代を懐かしみつつ、「顔認証による手ぶら決済」や「超高画質8K画像5Gテレビ電話」「空飛ぶ車」に昭和97年の夢を託して行きましょう。



IT実用化推進チーム
チームリーダー
L 徳田和人

IT 実用化チーム 徳田委員長の助手を務めて！



L 井上孝喜

沼

津 LC メンバーにとって未曾有のこのコロナパンデミックにおいて、ICT（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジーの略だそうです。）の手法を利用し、大切な例会を何とか充実させようとする徳田委員長のひたむきな情熱にほだされて、この半年間 ICT 機器（パソコン等）の操作助手を務めて参りました。

ふり返ってみると、それは様々な体験（困難・トラブル）のオンパレードでした。

○例会開始 5 分前になって、それまで発信出来ていた会場の音声突然発信できなくなった。

○パソコンが外付けのビデオカメラを認識せず壇上の会長を映すことが出来ない。

○例会場で多数のメンバーが Wi-Fi に接続したため私の操作するパソコンの Wi-Fi 接続が不安定になり発信できなくなった。

○会場の音声がハウリングして耳をつんざくような音が会場に響いた。

○使用機器の接続ケーブル（コード）が断線していた。

○接続したい機器のケーブル（コード）のコネクターが合わない。

等々、上げればきりがありません。

このような体験を経る中で、何よりも印象的だったことは、徳田委員長の IT に関する知識と探求心の深さであります。「USB の Type-C ?、HDMI ケーブル ?、シリアルポート ?、パラレルポート ?」など異次元の単語が徳田委員長から機関銃のごとく発せられ、正にチンプンカンプンとはこの事かと実感しました。そしてその保有する機材の膨大さ、「本格的なプロ仕様の装備」であります。徳田委員長自身は「趣味で、好きで購入してます。」とのことですが、私には、どう見ても「趣味」の範囲を超え「道楽」の境地に入っているとしか思えないのであります。

そして、もうひとつ、何よりも痛感したことは、どんな困難・トラブルに遭遇しても最後の最後まで諦めずに目の前の起こっている事象から逃げ出さず、奮闘努力すれば、「必ず道は開ける」、「なんとかなる」ということあります、皆で力を合わせた結果、ヨタヨタしいけれど、結果としてそれなりに例会のネット配信が出来ているのではないのでしょうか、ありきたりですが物事の基本を教えられた半年間であります。

IT 実用化推進チーム 2020 年からの軌跡

2020 年 9 月



↑ チーム始動。必要書類の電子化、整理

2021 年 4 月



↑ 役員会での BAND アプリ使用。オンライン役員会の実施

2021 年 8 月



↑ Teams アプリを使用したオンライン例会開始

2021 年 9 月



↑ LINE アプリを使いドネーション申請のオンライン化

2021 年 11 月



↑ 姉妹クラブ倉敷 LC メンバー、オンラインで例会参加

出席委員会担当例会 10月第1例会

2021年10月7日、サンフロン
トビル9階ミーティングルームに
て10月第1例会を開催しました。
緊急事態宣言明けの初めての例会
は、リモート参加が可能なハイブ
リット例会として開催。講演では、
REFS代表小松浩二様に『今こそで
きる地域資源の活かし方』をご講
演いただき、人との繋がりでもち
づくりや空き家や土地の活用、狩
野川河川敷を利用しイベント通じ、
事例の無い挑戦を行政に交渉し形
にした苦労話講演いただきました。



1 REFS代表小松浩二様による沼津の街づく
りについての講演。人とのつながりを形にする
難しさをお話いただきました。2 ソーシャ
ルディスタンスを保つ例会場から久しぶりの
クリアパーティションがない会長挨拶から
始まりました。3 担当の出席委員会のメン
バーのローア。4 LCIF 盾の贈呈が赤堀と
井上へ送られ元気なローアを披露ありまし
た。

SCENE

ハイブリット例会の実施

10月 - 12月 例会報告

10月から引き続きコロナ渦での例会開催
となりました。会場とオンラインを併用した
ハイブリット例会にも慣れ、コロナ渦でも変
わらぬクラブ運営を行うことができました。

LCIF 委員会担当例会 10月第2例会

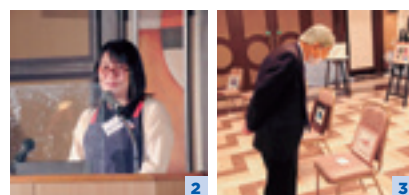
10月第2例会を沼津リバーサイド
ホテルで開催しました。「LCIF あれ
これ」と言う演題で、LCIF 委員会の
赤堀委員長よりパワーポイントを使
いながら詳しい説明がありました。
LCIF の目的は、奉仕活動の支援と
して、人道支援、災害等被災した地
域に対し物資の提供等に交付金とし
て提供をしています。クラブ内での
LCIF の理解を深め、今後の奉仕活動
に役立てて行きたいと思えます。



1 L 赤堀による LCIF についての講演。ライ
オンズ歴が浅いメンバーにも分かりやすく説明
していただきました。2 今回もリモートと
会場の併用例会となりました。3 LCIF 委員
会メンバーのローアで閉会となりました。

YCE 委員会担当例会 11月第1例会

11月4日木曜日、沼津リバーサイド
ホテルにて11月第一例会を開催し
ました。沼津市公認おさかなアート
クリエイターの鈴木翔太くんのお母
様の千春様をお迎えし、絵を通して
小学生が実践する「地域活性化」と
「社会貢献」と言う演題でお話し
いただきました。7歳の時の作品から現
在までをスライドに映しながら、翔
太君の地域への想いについて気持ち
の変化を説明いただきました。



1 翔太君からはビデオレターという形でメッ
セージをいただきました。2 広告宣伝のお
仕事でも活躍されている鈴木千春様による講
演。3 会場に翔太君の作品もお持ち頂きメ
ンバーも興味深く鑑賞いたしました。

ZC 訪問例会 11月第2例会

11月18日木曜日、11月第2例会を会場とリモートとの併用で開催いたしました。今回の例会は、当クラブの後藤ZCと大城地区委員両氏より就任の挨拶と役割等のお話をいただきました。また、当クラブの姉妹クラブである倉敷LCが65周年を迎えるにあたり、実行委員会メンバー3名がリモート参加され、65周年への熱いメッセージをいただきました。



1 倉敷LCと沼津LCをリモートで繋いでの同時ローア。
2 3 後藤ZCからは今年度のZCに求められる役割について、地区委員・大城によるMC活動の重要性についてお話いただきました。

青少年委員会担当例会 12月第1例会

2021年12月12日、12月第1例会として学童部との協働奉仕作業を開催しました。長年にわたり支援を行っている沼津野球連盟学童部の児童10チーム135名と合わせ、保護者や関係者、当クラブメンバーの総勢約270名が一堂に集い、青く澄み渡った青空の下、沼津駅にほど近い中央公園を中心とした5エリアに分担しゴミ拾いを実施しました。



1 感染予防と安全対策に従事することで不安の声や事故もなく無事に終えることができました。2 児童からの感想発表では「拾っているときは小さなゴミでも集めるととても多くのゴミが集まった」や「来年もまた参加したい」など嬉しくも頼もしい報告がなされました。3 青少年委員会、三須委員長より清掃地域の説明。準備から実施までお疲れさまでした。

クリスマス例会 12月第2例会

12月16日、クリスマス例会を開催しました。コロナ禍の影響で昨年度は開催出来ませんでしたが、2年ぶりに開催する事が出来ました。まだまだ完全に安心の出来る状況ではありませんので、例年参加していたメンバーのお子さんの参加は残念ながら無しに。会員とパートナーのみの参加で、和やかな内にクリスマス例会を行いました。



1 コロナ禍のなか、メンバーが会場でもリモートでも楽しめるよう計画大会委員会が企画してくれました。2 たくさんのプレゼントをお届けしました。

5LC

地区ライオンズ クラブ統一奉仕の日



10月10日曜日に地区76クラブ統一奉仕の日として「フードバンクふじのくに」へ食品の引き渡しが行われました。メンバーから寄付された食品とクラブから寄付するお米(5kg×24袋)、ペットボトル飲料192本とソーメン10箱を引き渡しさせていただきました。

献眼

献眼登録推進活動

10月23日土曜日、NPO法人ママでのイベントに当クラブもお誘いいただき献眼登録ブースの出展をして参りました。視力福祉委員会を中心にお手伝いを申し出たメンバーも参加して、半日でしたが楽しく献眼登録のお願いを行うことができました。



CLUB REPORT

2021-2022年度クラブスローガン

“みんなで楽しく We Serve”

10月は事業の毎年事業の多い月です。コロナ禍でも例年通り事業を行い、さらに新たな奉仕も行うことができました。

青少年

学童選抜大会

10月31日曜日、愛鷹球場において第44回選抜少年野球沼津交流大会が開催されました。

昨年に引き続きコロナ禍の影響で開催が危ぶまれていましたが、沼津野球連盟学童部役員様を始め、各チームの親御様や監督様など関係者皆さまのご尽力で大会が実現し、白熱した試合となりました。



献眼

献眼者厚生労働大臣 感謝状贈呈式



10月31日曜日、沼津市第二地区センター会議室にて献眼者厚生労働大臣感謝状伝達式が行われました。今年度は、コロナ禍で献眼提供が難しい中、3名の尊い献眼をしていただき、ご遺族に頼重沼津市長より感謝状を伝達して頂きました。

地域

香貫公園イルミネーション 設置作業

11月14日、香貫公園に設置されるイルミネーションの後援として設置作業のお手伝いをしました。イルミネーションは、11月28日17時30分点灯式を行い、来年の2月19日まで点灯。12月25日18時からミニライブも開催され沼津市民の憩いの場となりそうです。



青少年

市民憲章額贈呈式



11月19日沼津市立今沢小学校に、11月25日沼津市立今沢中学校にて、市民憲章額の贈呈式がありました。沼津市民憲章とは沼津の美しい自然と豊かな郷土を愛し、先人の努力を受け継ぎすぐれた健康都市を築いていくため沼津市制50周年を記念して昭和48年に制定されたものです。

5LC

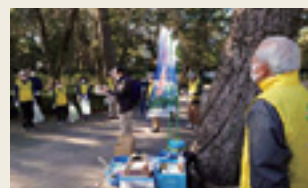
こども食堂支援

12月10日大中寺子ども食堂、12月18日大岡こども食堂、12月19日子ども食堂心へ訪問いたしました。それぞれのボランティア団体のスタッフの方たちが栄養たっぷりの料理を振舞い、子供たちは美味しそうに食べておりました。沼津LCは今後も子ども食堂の支援をしてまいります。



青少年

沼津市民憲章推進協議会 の美化活動



2021年12月4日 沼津市民憲章推進協議会の美化活動があり、沼津御用邸記念公園の清掃を行いました。当クラブからL赤堀・L三須が参加し、協議会メンバーとともに、公園内の清掃を行いました。

